



2020年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月15日

上場会社名 ナトコ株式会社
 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285
 定時株主総会開催予定日 2021年1月26日 配当支払開始予定日 2021年1月27日
 有価証券報告書提出予定日 2021年1月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期の連結業績（2019年11月1日～2020年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期	16,247	△8.2	1,441	△6.6	1,500	△1.3	1,027	5.0
2019年10月期	17,701	4.5	1,543	4.8	1,519	4.2	978	△3.6

(注) 包括利益 2020年10月期 979百万円 (5.0%) 2019年10月期 933百万円 (19.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年10月期	136.23	—	5.5	6.2	8.9
2019年10月期	129.71	—	5.4	6.5	8.7

(参考) 持分法投資損益 2020年10月期 一百万円 2019年10月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年10月期	24,651	19,047	77.3	2,524.98
2019年10月期	23,912	18,369	76.8	2,435.11

(参考) 自己資本 2020年10月期 19,047百万円 2019年10月期 18,369百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年10月期	1,434	△922	△305	7,158
2019年10月期	1,875	△1,528	△289	6,970

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年10月期	—	18.00	—	22.00	40.00	301	30.8	1.7
2020年10月期	—	18.00	—	22.00	40.00	301	29.4	1.6
2021年10月期(予想)	—	20.00	—	24.00	44.00		30.2	

3. 2021年10月期の連結業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	△1.1	590	△4.3	615	0.0	410	0.7	54.35
通期	17,400	7.1	1,600	11.0	1,640	9.3	1,100	7.0	145.82

(注) 2021年10月期より有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更し、業績予想を作成しております。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年10月期	8,144,400株	2019年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	2020年10月期	600,923株	2019年10月期	600,923株
③ 期中平均株式数	2020年10月期	7,543,477株	2019年10月期	7,543,477株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1.経営成績等の概況（4）次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績等の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 次期の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 役員の異動	18
(2) その他	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年11月1日～2020年10月31日)における世界経済は、当初は緩やかな減速傾向にありましたが、2020年2月以降は新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という。)の世界的大流行の影響を受け、世界各国の経済活動が大幅に縮小し、急速に悪化しました。終盤になり徐々に再開してきた経済活動や中国経済回復傾向によりやや持ち直しが見られたものの、厳しい状況が継続しました。

わが国経済も、世界経済同様、感染症の影響による経済活動の落ち込みにより、消費の低迷や製造業の生産活動が伸び悩む中、政府や自治体による各種施策の効果もあり、足元の景気動向には持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況でありました。

このような状況のもと、当社グループは、感染症の拡大防止に関する各国政府や各自治体の要請を遵守しつつ、独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発を行うとともに、販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は16,247百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益1,441百万円(前年同期比6.6%減)、経常利益1,500百万円(前年同期比1.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,027百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 塗料事業

金属用塗料分野では、輸出の低迷や感染症の拡大の影響を受け、当社グループの主力納入業界(鋼製家具、工作機械)をはじめ多くの製造業で生産が減少したこと、建材用塗料分野では、新設住宅着工戸数の減少に伴い、全体的に塗料出荷量が低調であったことで、売上高、セグメント利益は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、塗料事業における当連結会計年度の売上高は9,614百万円(前年同期比11.7%減)、セグメント利益は1,033百万円(前年同期比14.8%減)となりました。

② ファインケミカル事業

光学フィルム向けコーティング剤が堅調に推移したことやスマートフォンのアクセサリ向けコーティング剤の受注が増加したこと、さらに感染症の拡大の影響でリモートワークが進み、PC及びモバイル製品の市場が旺盛だったことにより、売上高及びセグメント利益は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当連結会計年度の売上高は2,749百万円(前年同期比12.0%増)、セグメント利益は706百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

③ シンナー事業

有限会社アイシー産業において台風19号の浸水被害により1ヶ月半生産停止となったことや、輸出の低迷や感染症の拡大の影響による既存ユーザーの生産活動の停滞により販売量が減少したため、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。セグメント利益につきましては、原油価格下落による原材料価格の値下がりや山口工場の減価償却費負担の軽減により前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、シンナー事業における当連結会計年度の売上高は3,883百万円(前年同期比10.9%減)、セグメント利益は305百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は17,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が140百万円、原材料及び貯蔵品が105百万円減少したものの、現金及び預金が107百万円、電子記録債権が111百万円、前渡金が246百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ524百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具(純額)が48百万円、投資有価証券が36百万円減少したものの、建設仮勘定が586百万円、その他有形固定資産(純額)が35百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は24,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ738百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が359百万円、未払法人税等が115百万円減少したものの、未払金が278百万円、その他流動負債が221百万円増加したことによるものであります。固定負債は725百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が20百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,604百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の合計は19,047百万円となり、前連結会計年度末に比べ677百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益を1,027百万円計上した一方、その他有価証券評価差額金が30百万円、剰余金の配当により301百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.3%（前連結会計年度末は76.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より188百万円増加し、当連結会計年度末には7,158百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,434百万円（前年同期は1,875百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,458百万円、減価償却費606百万円、たな卸資産の減少113百万円による資金の増加と仕入債務の減少347百万円、法人税等の支払553百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、922百万円（前年同期は1,528百万円の支出）となりました。これは主に、有価証券の償還、信託受益権の償還による収入9,800百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出968百万円、有価証券及び信託受益権の取得による支出9,800百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、305百万円（前年同期は289百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払305百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年10月期	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期	2020年10月期
自己資本比率 (%)	78.2	77.1	77.5	76.8	77.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	33.3	46.0	37.2	40.8	31.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	12.1	11.4	11.7	8.1	11.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	67,590	10,418	89,709	123,936	477,270

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式総数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 次期の見通し

感染症の拡大や米中貿易摩擦による世界経済の不確実性が高まる一方、IoT、AIの様々な分野への活用など、将来の産業発展に向けた動きが加速しています。また、地球温暖化などを世界的に解決しようとするSDGsへの取り組みが重要視され、例えば自動車においては、電動化や燃費向上のため軽量化素材の活用など、時代の要請にも対応する必要があります。

このような状況のもと、当社は、「ユニークな発想で新しい価値を創造する」ことを基本理念に、絶えず独創的、革新的な研究と技術力の向上に努め、付加価値の高い製品を開発し、これを事業基盤としてグローバル展開を目指しています。事業活動にあたっては、お客様の満足度を第一とし、品質と機能において常に優れた製品、サービス、情報を提供することに努め、事業収益、経営効率の向上を図ってまいります。

次期の業績見通しは、売上高17,400百万円（当連結会計年度比7.1%増）、営業利益1,600百万円（当連結会計年度比11.0%増）、経常利益1,640百万円（当連結会計年度比9.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,100百万円（当連結会計年度比7.0%増）を見込んでおります。

なお、2021年10月期より、有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更いたします。これは、当社グループ有形固定資産の利用状況を検討した結果、生産高、稼働率等が長期安定的に推移することが見込まれること、また、海外子会社においては定額法を採用していることから、定額法による減価償却が当社グループの設備利用実態をより適切に反映するものと判断したためであります。2021年10月期の減価償却費の総額は、この減価償却方法の変更による約146百万円の減少分を加味した上で15百万円の増加を見込んでおります。

また、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1CNY=15.5円、1USD=105円を想定しております。（2020.10.31時は、1CNY=15.39円、1USD=107.52円）

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当連結会計年度 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,525,609	7,633,092
受取手形及び売掛金	5,464,403	5,324,337
電子記録債権	310,634	421,745
有価証券	1,200,000	1,200,000
商品及び製品	1,032,988	1,033,147
仕掛品	34,160	28,195
原材料及び貯蔵品	624,171	518,973
前渡金	221,513	468,093
信託受益権	800,000	800,000
その他	78,928	78,052
貸倒引当金	△5,539	△5,327
流動資産合計	17,286,870	17,500,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,663,589	2,651,947
機械装置及び運搬具(純額)	1,082,801	1,034,141
土地	1,737,249	1,743,380
建設仮勘定	97,451	683,913
その他(純額)	198,278	234,071
有形固定資産合計	5,779,369	6,347,453
無形固定資産	164,280	167,066
投資その他の資産		
投資有価証券	448,672	412,037
繰延税金資産	68,071	77,819
その他	169,018	153,923
貸倒引当金	△3,475	△7,368
投資その他の資産合計	682,287	636,412
固定資産合計	6,625,938	7,150,932
資産合計	23,912,808	24,651,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当連結会計年度 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,074,299	2,714,454
電子記録債務	15,478	28,273
未払金	562,533	841,120
未払法人税等	323,722	207,821
賞与引当金	257,202	256,501
役員賞与引当金	36,300	33,900
その他	574,771	796,543
流動負債合計	4,844,307	4,878,614
固定負債		
繰延税金負債	9,617	6,193
役員退職慰労引当金	323,455	343,824
退職給付に係る負債	149,727	153,738
その他	216,487	221,749
固定負債合計	699,286	725,505
負債合計	5,543,594	5,604,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	13,368,783	14,094,722
自己株式	△516,255	△516,255
株主資本合計	17,795,406	18,521,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	179,038	148,549
為替換算調整勘定	405,728	397,539
退職給付に係る調整累計額	△10,959	△20,309
その他の包括利益累計額合計	573,807	525,780
非支配株主持分	—	—
純資産合計	18,369,214	19,047,124
負債純資産合計	23,912,808	24,651,244

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
売上高	17,701,409	16,247,002
売上原価	13,264,108	12,028,267
売上総利益	4,437,301	4,218,734
販売費及び一般管理費	2,894,176	2,777,437
営業利益	1,543,124	1,441,297
営業外収益		
受取利息	4,252	5,256
受取配当金	12,348	12,963
受取ロイヤリティー	10,000	10,000
物品売却益	20,129	14,222
為替差益	—	2,150
その他	17,924	26,165
営業外収益合計	64,654	70,758
営業外費用		
支払利息	15	3
売上割引	11,537	10,320
為替差損	75,004	—
その他	1,496	1,391
営業外費用合計	88,052	11,714
経常利益	1,519,726	1,500,341
特別利益		
固定資産売却益	77	209
補助金収入	—	19,144
受取保険金	—	6,807
特別利益合計	77	26,160
特別損失		
固定資産処分損	18,820	11,892
固定資産圧縮損	—	23,154
ゴルフ会員権評価損	—	21,405
災害による損失	—	12,035
特別損失合計	18,820	68,487
税金等調整前当期純利益	1,500,983	1,458,014
法人税、住民税及び事業税	519,458	431,144
法人税等調整額	3,037	△806
法人税等合計	522,495	430,337
当期純利益	978,487	1,027,677
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	978,487	1,027,677

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
当期純利益	978,487	1,027,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,752	△30,488
為替換算調整勘定	△54,042	△8,189
退職給付に係る調整額	6,202	△9,349
その他の包括利益合計	△45,087	△48,027
包括利益	933,399	979,649
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	933,399	979,649
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,626,340	3,316,538	12,676,948	△516,255	17,103,571
当期変動額					
剰余金の配当			△286,652		△286,652
親会社株主に帰属する 当期純利益			978,487		978,487
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	691,835	—	691,835
当期末残高	1,626,340	3,316,538	13,368,783	△516,255	17,795,406

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	176,286	459,771	△17,162	618,895	—	17,722,466
当期変動額						
剰余金の配当						△286,652
親会社株主に帰属する 当期純利益						978,487
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,752	△54,042	6,202	△45,087	—	△45,087
当期変動額合計	2,752	△54,042	6,202	△45,087	—	646,747
当期末残高	179,038	405,728	△10,959	573,807	—	18,369,214

当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,626,340	3,316,538	13,368,783	△516,255	17,795,406
当期変動額					
剰余金の配当			△301,739		△301,739
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,027,677		1,027,677
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	725,938	—	725,938
当期末残高	1,626,340	3,316,538	14,094,722	△516,255	18,521,344

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	179,038	405,728	△10,959	573,807	—	18,369,214
当期変動額						
剰余金の配当						△301,739
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,027,677
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△30,488	△8,189	△9,349	△48,027	—	△48,027
当期変動額合計	△30,488	△8,189	△9,349	△48,027	—	677,910
当期末残高	148,549	397,539	△20,309	525,780	—	19,047,124

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,500,983	1,458,014
減価償却費	609,938	606,602
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,033	3,680
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10,840	7,247
受取利息及び受取配当金	△16,600	△18,219
支払利息	15	3
固定資産処分損益 (△は益)	18,820	11,746
固定資産売却損益 (△は益)	△77	△62
固定資産圧縮損	—	23,154
災害による損失	—	12,035
ゴルフ会員権評価損	—	21,405
為替差損益 (△は益)	57,610	8,973
売上債権の増減額 (△は増加)	△133,859	33,433
たな卸資産の増減額 (△は増加)	154,808	113,679
仕入債務の増減額 (△は減少)	△73,918	△347,255
補助金収入	—	△19,144
受取保険金	—	△6,807
災害による損失の支払額	—	△10,005
その他	123,907	70,928
小計	2,232,821	1,969,408
利息及び配当金の受取額	15,793	18,657
利息の支払額	△15	△0
法人税等の還付額	5,920	23
法人税等の支払額	△378,874	△553,414
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,875,647	1,434,674
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△510,700	△212,600
定期預金の払戻による収入	238,600	276,600
有価証券の取得による支出	△5,500,000	△5,800,000
有価証券の償還による収入	5,200,000	5,800,000
信託受益権の取得による支出	△3,600,000	△4,000,000
信託受益権の償還による収入	3,200,000	4,000,254
有形固定資産の取得による支出	△536,055	△968,365
有形固定資産の売却による収入	77	1,250
無形固定資産の取得による支出	△13,386	△39,963
投資有価証券の取得による支出	△2,188	△2,214
差入保証金の差入による支出	△1,990	△1,284
差入保証金の回収による収入	1,236	365
補助金の受取額	—	19,144
保険金の受取額	—	6,807
その他	△3,725	△2,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,528,131	△922,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△286,662	△305,536
その他	△2,686	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,348	△305,536
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,849	△18,649
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	38,318	188,282
現金及び現金同等物の期首残高	6,931,891	6,970,209
現金及び現金同等物の期末残高	6,970,209	7,158,492

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大による影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、当社グループは、今後しばらくは一定程度の影響を受けるものの、緩やかに需要が回復し、翌連結会計年度末にかけて収束に向かうものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等に係る会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確実性が高く、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業活動を展開しており、「塗料事業」、「ファインケミカル事業」及び「シンナー事業」の3つを報告セグメントとしております。

「塗料事業」は、合成樹脂塗料等の製造販売を行っております。「ファインケミカル事業」は、高機能性樹脂・樹脂素材用コート剤等の製造販売を行っております。「シンナー事業」は、純品シンナー・リサイクルシンナーの製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年11月1日 至 2019年10月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	塗料事業	ファインケミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,886,986	2,454,750	4,359,672	17,701,409	—	17,701,409
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,210	11,641	306,359	330,211	△330,211	—
計	10,899,197	2,466,392	4,666,031	18,031,621	△330,211	17,701,409
セグメント利益	1,213,883	651,349	289,795	2,155,028	△611,904	1,543,124
セグメント資産	9,384,083	1,978,253	3,506,741	14,869,078	9,043,729	23,912,808
その他の項目						
減価償却費	296,051	55,456	196,984	548,493	61,445	609,938
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	307,153	51,444	137,422	496,020	66,113	562,134

(注) 1. セグメント利益の調整額△611,904千円は、セグメント間取引消去26,928千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△638,832千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	塗料事業	ファインケミ カル事業	シンナー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,614,117	2,749,268	3,883,615	16,247,002	—	16,247,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,059	—	229,436	242,495	△242,495	—
計	9,627,176	2,749,268	4,113,052	16,489,498	△242,495	16,247,002
セグメント利益	1,033,833	706,337	305,832	2,046,003	△604,706	1,441,297
セグメント資産	9,754,628	2,664,359	3,478,457	15,897,444	8,753,800	24,651,244
その他の項目						
減価償却費	311,194	67,405	172,211	550,811	55,791	606,602
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	782,813	65,370	286,413	1,134,597	44,686	1,179,283

- (注) 1. セグメント利益の調整額△604,706千円は、セグメント間取引消去24,313千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629,019千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものであります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
15,238,126	2,137,962	325,320	17,701,409

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	その他アジア	合計
4,571,044	1,164,910	43,414	5,779,369

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ニチハ株式会社	3,855,451	塗料事業・シンナー事業

当連結会計年度 (自 2019年11月 1 日 至 2020年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
13,554,428	2,469,413	223,160	16,247,002

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	その他アジア	合計
5,217,375	1,094,220	35,857	6,347,453

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ニチハ株式会社	3,503,165	塗料事業・シンナー事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年11月 1 日 至 2019年10月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2019年11月 1 日 至 2020年10月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年11月 1 日 至 2019年10月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2019年11月 1 日 至 2020年10月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年11月 1 日 至 2019年10月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2019年11月 1 日 至 2020年10月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
1株当たり純資産額 2,435円11銭	1株当たり純資産額 2,524円98銭
1株当たり当期純利益金額 129円71銭	1株当たり当期純利益金額 136円23銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当連結会計年度 (2020年10月31日)
純資産の部の合計額(千円)	18,369,214	19,047,124
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	18,369,214	19,047,124
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	7,543,477	7,543,477

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	978,487	1,027,677
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	978,487	1,027,677
期中平均株式数(株)	7,543,477	7,543,477

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

該当事項はありません。

(2) その他

販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	前年同期比 (%)
塗料事業 (千円)	9,614,117	△11.7
金属用塗料 (千円)	4,626,637	△12.5
建材用塗料 (千円)	4,787,734	△10.9
その他 (千円)	199,745	△12.8
ファインケミカル事業 (千円)	2,749,268	12.0
シンナー事業 (千円)	3,883,615	△10.9
合計 (千円)	16,247,002	△8.2

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。